|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 監　督　員 | 係　　長 | 課・所・場長 |

令和　　年　　月　　日受付　　印

**工事における創意工夫等実施状況報告書**

令和　　年　　月　　日

広島市水道事業管理者

受注者　住所、商号又は名称、代表者氏名、電話番号

|  |  |
| --- | --- |
| 工事名 | |
| 工事場所 | |
| 工期  　　　　平成　　　年　　　月　　　日から  　　　　平成　　　年　　　月　　　日まで | 請負代金額  　　　　 　　　　　　　　　　　　円 |
| 高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況  　　　　別添のとおり | |

次の工事について、創意工夫等実施状況を報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 工事名 | |
| 高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況  　　　　別添のとおり | |
| 工事場所 | |
| 工期  　　　　平成　　　年　　　月　　　日から  　　　　平成　　　年　　　月　　　日まで | 請負代金額  　　　　 　　　　　　　　　　　　円 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工事名 | |
| 高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況  　　　　別添のとおり | |
| 工事場所 | |
| 工期  　　　　平成　　　年　　　月　　　日から  　　　　平成　　　年　　　月　　　日まで | 請負代金額  　　　　 　　　　　　　　　　　　円 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工事番号 | |
| 工事名 | |
| 工事場所 | |
| 工期  令和　　　年　　　月　　　日から  令和　　　年　　　月　　　日まで | 請負代金額  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 創意工夫・社会性等に関する実施状況のとおり | |

創意工夫・社会性等に関する実施状況（１／２）

別紙１

検査様式－１８－１

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 工　事　名 |  | | 受注者 |  |
| 項　　目 | 評　価　内　容 | 備　　　　　　考 | | |
| □　創意工夫 | □　施工 | □　施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫  □　コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫  □　土工、地盤改良、橋りょう架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫  □　部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫  □　設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫  □　給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫  □　照明などの視界の確保に関する工夫  □　仮排水、仮道路、う回路等の計画的な施工に関する工夫  □　運搬車両、施工機械等に関する工夫  □　支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫  □　盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫  □　施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫  □　出来高又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫  □　施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫  □　ICTを活用した情報化施工を取り入れた工事（ICT活用工事の場合は除く。）  □　簡易型ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までのいずれかの段階でICTを活用した工事（電子納品のみは除く）  □　ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までのすべての段階でICTを活用した工事  □　特殊な工法や材料を用いた工事  □　優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事 | | |
| □　新技術活用 | □　NETIS登録技術のうち「有用とされる技術」を施工計画書に記載の上、活用している新技術  □　NETIS登録技術のうち「有用とされる技術」以外の技術を施工計画書に記載の上、活用し、現場の創意工夫に寄与していると認められる新技術 | | |
| □　品質 | □　土工、設備、電気の品質向上に関する工夫  □　コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫  □　鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫  □　配筋、溶接作業等に関する工夫 | | |

注）□欄には、該当箇所に☑を付けること。

創意工夫・社会性等に関する実施状況（２／２）

別紙１

検査様式－１８－１

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　目 | 評　価　内　容 | 備　　　　　　考 |
| □　創意工夫 | □　安全衛生 | □　建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育の実施  □　安全を確保するための仮設備等に関する工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手すり、足場等）  □　安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫  □　現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫  □　有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫  □　一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫  □　厳しい作業環境の改善に関する工夫  □　環境保全に関する工夫 |
| □　働き方改革 | 当該工事において、ほかの模範となるような下記項目の取組を実施  □　週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取組の実施  □　若手や女性技術者の登用など、担い手確保に向けた取組の実施 |
| □　その他 | □ |
| □　社会性等  地域社会や住民に対する貢献 | □　地域への貢献等 | □　周辺環境への配慮に対する取組  □　現場環境を地域との調和を図る取組  □　地域住民とのコミュニケーションを図る取組  □　ボランティア活動等の取組  □　災害時などに地域への支援・救援活動の協力 |
| □　その他 | □ |

注１）□欄には、該当箇所に☑を付けること。

注２）具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に添付すること。

創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

別紙２

検査様式－１８－２

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 工事名 |  | | | ／ |
| 項目 |  | 評価内容 |  | |
| 提案内容 |  | | | |
| （説　明） | | | | |
| （添付図） | | | | |

注）説明資料は簡潔に作成し、必要に応じて別紙とすること。